

## 謝 辞

本博士論文は多くの方々のご指導やご協力，そして励ましを得てようやく完成することができました．すべての皆様に対してここに感謝の念を表します．

指導教官である筑波大学体育科学系助教授の田中喜代次先生には，研究デザインの重要性，文章表現のチェック，的確な統計解析手法の解説，わかりやすい図表の作り方など研究論文を執筆する上で必要と思われるエッセンスを余すことなく与えていただきました．論文の作成に関してだけでなく，測定器具を大切に扱うこと，つねに実験室の整理整頓を心がけること，そして何と云っても被検者を第一に考え，相手の気持ちを思いやる優しさを教えていただきました．研究者としてだけでなく，一個人間としてのあるべき姿を強烈に示されたような思いを抱きました．

博士課程編入学以降，研究計画書の作成，研究報告会および予備審査会において，体育科学系教授の松田光生先生，体育科学系助教授の中込四郎先生には，時には厳しく，時にはやさしく，適切なご指導を頂戴いたしました．的を得たご指摘により，論文の内容をさらに充実できましたことを心より感謝申し上げます．

本研究のデータを収集する上で運動負荷テストの実施に際しては，東取手病院院長の檜山輝男先生，副院長の渡邊寛先生に多大なご協力をいただきました．ここに感謝の意を表します．また，田中研究室の先輩・後輩の皆さんには，朝早くから夜遅くまで実験準備を手伝い，データ収集に協力していただきました．そして，何よりも感謝申し上げたいのは，本研究の主旨をご理解いただき，苦しい測定に参加して下さった被検者の皆様です．ここに，博士論文の完成を報告すると同時に感謝の念を表します．

最後に，これまで優しく見守り続けてくれた両親と，辛いとき，苦しいとき，

落ち込んだとき、いつ如何なるときもしっかりと支えてくれた妻恵允には、心から“ありがとう”を送ります。